

# 限定公開多用途支援艦「ひうち」 艦艇広報イベントに参加



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）広報室（室長 1陸尉 鈴木勝太）は4月17日（土）18日（日）の2日間、寺泊港（長岡市）において、多用途支援艦「ひうち」の艦艇広報を実施しました。

コロナ禍により抽選による招待者のみの艦内見学（特別公開）となりましたが、会場では第2普通科練隊（連隊長 1陸佐 古賀理都靖）から隊員、車両の支援を受け、高機動車及び軽装甲機動車の展示や高田駐屯地音楽クラブによる音楽演奏も併せて行われました。

初日は大雨、強風という悪天候でしたが、インターネット公募に当選した7グループ約100名の他に、久々に入港した海自艦艇を一目見ようと近隣の住民の方も多く見学に来られ会場の装備品展示や音楽演奏を楽しんでいました。

特別公開は10名程度のグループ毎、時間を分けて艦内を見学しました。船室、艦橋などの見学をした他、乗組員から支援艦としての曳航能力、物資輸送能力の説明を受け、小型ながら大型の補給艦を単船で曳航することが可能と言う説明を聞いて驚きの声を上げていました。参加者からは「初めて自衛隊の艦艇の中を見られて感激した」「かっこよかった、将来乗ってみたい」「乗務員がフレンドリーでみんな笑顔が素敵な方ばかりで楽しかった」と言った声を聞くことができました。また、艦艇の前で行われた音楽演奏では「素晴らしかった、力強い演奏だった」「天候に左右されずにしっかり演奏できるのはすごいと思った」などと感想を聞くことができました。



2日目は強風のため特別公開は中止となりましたが、「写真だけでも撮りに来た」「外からだけでも見学したい」等、大勢の見学者が訪れ、艦艇の人気の高さがうかがえました。  
新潟地本は、今後も艦艇広報を通じて海上自衛隊に対する任務や理解を深めてもらうとともに、自衛隊の志願者の獲得に繋げていきます。